

平成23年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

中国ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録左官基幹技能者に求められる能力に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 一般の技能者を指揮・監督できるだけの十分な能力
2. 未熟練の作業者をレベルアップさせる OJT を行う能力
3. 技術者の示す施工計画等から現場に適した技能面からの施工方法、作業手順、工夫の提案能力
4. 現場での工事利益を上げるためのマネジメント能力

問題 2 左官技能者の将来の道筋と各発展段階における教育の方法の記述に関して、**最も不適当なものはどれか。**

1. 左官技能教育は、OJT が主である。
2. 左官技術教育は、Off-JT が主である。
3. 左官技術技能教育は、OJT と Off-JT によるマネジメント技術の習得が重要である。
4. 左官基幹技能者教育は、OJT によるコミュニケーション能力の習得が重要である。

問題 3 建設業の許可に関して、「建設業法上」、**最も不適当なものはどれか。**

1. 発注者から直接請負う 1 件の建築一式工事につき、下請代金の額が 2,000 万円 の下請契約をする場合には、特定建設業の許可を必要とする。
2. 建設工事を発注者から直接請負わず、下請負人として建設業を営む者は、一般建設業の許可を受ければよい。
3. 工事 1 件の請負代金の額が、1,500 万円に満たない建築一式工事のみを請負う場合は、建設業の許可を必要としない。
4. 一般建設業の許可を受ける場合、その営業所ごとに専任の技術者を置かなければならない。

問題4 建設工事現場に設置する技術者に関して「建設業法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 発注者から直接建築一式工事を請負った特定建設業者は、4,000万円の下請契約を締結して工事を施工する場合、工事現場に主任技術者を置かなければならない。
2. 主任技術者を設置する工事で専任が必要とされるものでも、同一の建設業者が同じ場所で行う密接な関係のある2以上の工事については、これらの工事を同じ主任技術者が管理できる。
3. 請負代金の額が、5,000万円の共同住宅の建築一式工事を請負った建設業者が、工事現場に置く主任技術者は、専任のものでなければならない。
4. 下請代金として建設工事を請負った建設業者は、下請代金の額にかかわらず主任技術者を置かなければならない。

問題5 建設現場における安全衛生管理体制に関する記述として「労働安全衛生法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 事業場に安全管理者が1人の場合、その安全管理者は、当該事業場に専属の者でなければならない。
2. 労働者が常時50人以上の事業場では、安全管理者、衛生管理者、産業医を選ばなければならない。
3. 同一場所で元請け、下請け合わせて、常時50人以上の労働者が混在する工事現場では、作業主任者を選任し、作業に従事する労働者の指導等を行わせなければならない。
4. 労働者が常時50人以上の事業場では、安全委員会および衛生委員会を設けなければならない。

問題6 次の資材のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」上、特定建設資材として最も不適当なものはどれか。

1. ガラスくず
2. 木材
3. アスファルト・コンクリート
4. コンクリートおよび鉄から成る建設資材

問題7 VE(バリュー・エンジニアリング)を示した式の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

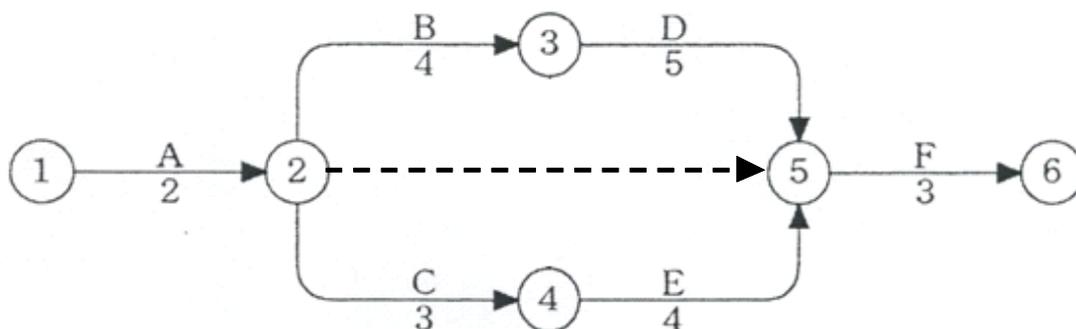
$$V(\text{Value: 価値}) = \frac{F (\text{Function: 機能})}{C (\text{Cost: コスト})}$$

1. 機能は (F) は、得られた効用の大きさを示したものである。
2. 価値 (V) は、コスト低減による顧客の満足の度合いを示したものである。
3. コスト (C) は、支払った費用の大きさを示したものである。
4. 価値の大きさは、「もの」の働き (F:機能) とそれに支払う代価 (顧客にとってはコスト) との比によって表わすことができる。

問題8 VEを実施するためのブレインストーミング (BS) に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 連鎖反応により豊富で多彩な情報を得ることができる。
2. 競争心により自由で活発な意見を得ることができる。
3. ゲーム感覚で誰もが楽しく話し合いをすることができる。
4. 20人以上の大人数で行うほうが、より多くの情報を得ることができる。

問題9 以下のネットワーク工程表の内容を説明した文章に関して、最も不適当なものはどれか。



1. ② ---> ⑤のダミーは、9日である。
2. Eの作業の最遅終了時刻は、11日である。
3. Dの作業の最早開始時刻は、6日である。
4. この現場のクリティカルパスは、14日である。

問題 10 災害発生したときの事故報告に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 事故報告書（様式 22 号）は、クレーン、移動式クレーン、工事中エレベーター、建設用リフト等の事故発生後、遅滞なく事業者が所轄の労働基準監督署長に提出する。
2. 労働者死傷病報告（様式 23 号）は、労働者が死亡または 4 日以上休業した場合、事故発生後、遅滞なく事業者が所轄の労働基準監督署長に提出する。
3. 事故報告書（様式 22 号）は、事業場または付属建物内で火災、爆発または倒壊の事故発生後、2 週間以内に事業者が所轄の労働基準監督署長に提出する。
4. 労働者死傷病報告（様式 24 号）は、労働者が 4 日未満休業した場合、年 4 回の定期報告において、事業者が所轄の労働基準監督署長に提出する。

問題 11 化学物質等安全データシート（MSDS）制度に関して、最も不適当なものはどれか。

1. MSDS 制度とは、化学物質の適切な管理を行うために、取り扱う原材料や資材の有害性や取り扱いの注意等について正しい情報を周知するためのものである。
2. MSDS の提供では、化学工業品製造業者→（MSDS 提供）→加工業者→（MSDS 提供）→卸売業者→（MSDS 提供）→小売業者→（MSDS 提供）→消費者 が例として挙げられる。
3. 対象化学物質を事業者間で取引する場合、MSDS の提供を義務付けすることにより、各事業者が化学物質の管理を行う上で十分な情報を得ることができる。
4. MSDS 制度の対象となる化学物質は、法律上「第 1 種指定化学物質」および「第 2 種指定化学物質」として 435 物質が指定されており、具体的な物質としてベンゼン・ダイオキシン類・石綿等がある。

問題 12 災害発生時の応急措置に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 災害に直結した設備、機械等の動力は直ちに停止する。
2. 被災者を救出する。
3. 応急手当は救急隊に任せる。
4. 二次災害防止の措置をする。

問題 1 3 労働災害と事業者の四重責任に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 刑事責任では、労働基準監督官及び警察から捜査を受け、労働安全衛生法違反による業務上過失致死傷罪等に問われることはない。
2. 行政責任では、労働基準監督署長等から作業の停止命令や、機械設備の使用停止命令等を受けることが挙げられる。
3. 民事責任では、労働災害保険でカバーできない損害について、民事損害賠償を請求されることがある。
4. 社会的責任では、世間の批判を浴びて、企業の社会的信用を失墜させられることが挙げられる。

問題 1 4 工事契約に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 契約書
2. 設計図または施工計画図
3. 仕様書（特記仕様書を含む）
4. 諸経費

問題 1 5 建設工事の見積もりに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業者は、建設工事の請負契約を締結するに際して、工事の内容に応じ、工事の種別ごとに材料費、労務費その他の経費の内訳を明らかにして、建設工事の見積りを行うよう務めなければならない。
2. 適正な見積りを行うためには、それなりの技術力は必要としない。
3. 建設業者は、建設工事の注文者から請求があったときは、請負契約が成立するまでの間に、建設工事の見積書を提示しなければならない。
4. 建設工事の見積りで基本的事項は、材料費、労務費、機械経費等により構成される直接工事費であり。

問題 1 6 工事現場における施工の手段に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 人または労力
2. 方法
3. 資金
4. チェック

問題 17 品質管理の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 品質管理を行う上で、「品質が良い」とは、長さ、重さ、正確さのような特性が、規格としてその範囲内に収まっているということである。
2. 総合的品質管理とは、建設現場において統合的に品質管理を行うことであり、CS (Customer Satisfaction) を指す。
3. 品質管理を行う上で、「管理」とは、目標を決めて、目標通り間違いなく行われているかどうかチェックし、これから外れていけば、修正・処置を行い、目標通りに実現させることである。
4. デミングサイクルは、計画→実施→検査・確認→処置→の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善することである。

問題 18 左官のひび割れ・劣化の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官下地と左官塗り壁は、温度変化、湿度変化などにより常時伸縮を繰り返している。
2. 日本建築学会の「鉄筋コンクリート造のひび割れ対策 設計・施工指針、同解説」(1990年)でひび割れ幅は、0.3 mm以下としている。
3. 左官下地と左官塗り層との寸法変化(ムーブメント)の差が大きい場合は、ひびわれ・剥離が生じる。
4. モイストチュアムーブメントとは、塗られたモルタル等に太陽や直射熱の繰り返して温度変化に伴って伸縮、反り等の変形挙動がおきることである。

問題 19 住宅瑕疵担保責任保険設計施工基準 の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 通気構法(外壁内に通気層を設け、壁体内通気を可能とする構造)とした外壁に用いる防水紙は、JIS A 6111(透湿防水シート)に適合する透湿防水シートまたはこれと同等以上の透湿性能及び防水性能を有するものとする。
2. 直張りに用いる防水紙は、JIS A 6005(アスファルトルーフィングフェルト)に適合するアスファルトフェルト 430 またはこれと同等以上の防水性能を有するもの(透湿防水シートを除く)とする。
3. アスファルトフェルト 430 は、18 kg巻/42 mのアスファルトフェルトのことである。
4. 防水紙は、張り付け時にサッシ、壁、貫通孔等の周囲に防水テープを用いて密着させる。

問題 2 0 現場打ちコンクリート下地の条件の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 開口部、ひび割れ誘発目地、構造スリットなどの位置や形状については、現場で決める。
2. 型枠は、完全に取り外してあること。
3. コンクリートの表面の硬化不良の部分は、取り除き、剥離防止の処理が行われていること。
4. 高強度コンクリートには、目荒らしを施す。

問題 2 1 仕上げ工法の品質の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上げの厚さは、作業者が現場の状況に応じて判断する。
2. 仕上げ面は、平坦であり、真壁では、ちりがそろっていることである。
3. 仕上げ面は、ひび割れ、剥落、剥離、変色などの欠陥を生じさせないことである。
4. 仕上げ面の下地の状態は、その壁面全体が清掃されていることが重要である。

問題 2 2 材料・工法の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水モルタルとは、材料名のことで主として左官工事業者が行う。
2. モルタル防水とは、施工法のことで、その作業は主として防水業者が行う。
3. せっこう系セルフレベリング材は、 β 型せっこうを用いる。
4. セメント系セルフレベリング材は、ポルトランドセメントに分散剤、高流動化剤および骨材等を混入した既調合のセルフレベリング材である。

問題 2 3 JIS A 6909（建築用仕上塗材）の仕上塗材の種類および呼び名の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 — 外装薄塗材 E
2. 内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材 L
3. 内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材 W
4. 内装セメント系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材 G

問題 2 4 建設現場での部下への OJT 教育の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「挨拶」の方法を指導する
2. 仕事の「指示・命令」は作業終了時に行う
3. 建設現場内の「きまり」について指導する
4. 人前で「ほめる」工夫をする

問題 2 5 部下へ効果的に話す方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 自信を持って堂々と話すことで、部下の統率・管理を行うことができる。
2. 熱意を込めて話すことで、部下との効果的なコミュニケーションが図れる。
3. 簡略に話す技術を持つことで、具体的な作業の内容を的確に伝えることができる。
4. 話すテーマは、その場で考え、思い立ったらすぐに伝えることが重要である。